

# ほふたえ

鶴岡発

絹のみちしるべ

羽前絹練通信

第7号 2018・夏号

The road to Silk・Uzen Kenren



水洗機を泳ぐように流れるプリント生地。汚れを落とし、柄を固着させ、シルク本来の風合いを出すために欠かせない大切な工程。



入荷されたプリント品はこの蒸し機の中、100℃の水蒸気でプリント品が蒸される

## おらだの 仕事場 Vol.7 蒸し・水洗 (プリント品)

プリント品と呼ばれる柄物の扱いは多様で繊細。国内スカーフ用シルクの約半数以上がここでの工程を経て商品になっていく。

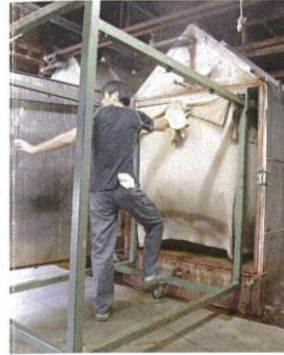
水洗工程の前に蒸された生地を縫合



水洗機は6層からなり、水から薬剤入りの湯へと送られていく

この工程では、生地の油や汚れ、蛋白質等の不純物を取り除き、シルク本来の風合いを出し、柄を生地にしっかりと固着させることが求められる。プリント柄に使われる染料は「酸性染料」と「反応染料」とに大別され、入荷時にチェックし仕分けられる。最近ではインクジェットによるプリント柄などの受注も増え、蒸し時間や水洗時の水温、薬剤などを微妙に調整しながら対応している。約100℃の水蒸気で蒸された生地は、水洗時には酸性染料なら約40℃のお湯、反応染料では約60〜80℃のお湯と水温を使い分けるなど緻密な作業が行われる。

入荷されてくるシルク地には、柄が描かれた「プリント品」と呼ばれるものがある。主にスカーフやハンカチ、ネクタイ等の素材になるもので、無地のシルクとはやや異なる「蒸し」「水洗」という工程を経ていく。生地の厚さ、長さの違いはもちろん、柄を描く染料の異なるものが混在するため、多様な対応力が必要となってくる。



蒸し機から生地を取り出す



水洗工程



水洗工程を経て捲かれる生地

もし対応を誤れば、柄が滲んだり汚れたりなどトラブルになりかねない。そのため作業は常に細心の注意を払いながら行われている。国内スカーフ用シルク生地の約半数以上はここでの工程を経て商品になっていく。それを支えているのは、ひたむきに黙々と作業に打ち込む誇り高き職人たちである。

## おらだの職人さん Profile 7

出荷まで短期間納期のものが多く、集中して手際よく工程を進めています。最近では水洗の仕様が多様化し、その都度対応力が問われる仕事です。縫い合わせでは、しわが入らない様に、また水洗機ではしわ・耳折れ・汚れがつかない様に特に気をつけています。



染色水洗課 水洗係  
清水 恭子 (平成17年入社)

羽前絹練の主な業務工程

精練



絹織物・絹交織織物  
(スカーフ・服地等)  
※2匁〜30匁以上まで

水洗加工



※4匁程度から

仕上げ後加工  
(特殊加工業務)



多彩な特殊加工技術で対応

- ・オパール加工・樹脂加工・毛焼き加工
- ・オイリング・スリップ止め・ピーチ加工・柔軟加工
- ・UVカット加工・防燃加工・撥水加工・抗菌加工
- ・湯通し加工・湯煮(糊落し)・漂白仕上 など

お気軽になんでもご相談ください!



はぶたえ

## 第七号発刊にあたって

羽前絹練株式会社

代表取締役 **阿部 純次**

伝統的な絹織物業が生き抜くのが難しい時代の中で、羽前絹練は、全国の絹精練業者が合成繊維加工に転換していく流れに乗らずに自らは絹織物精練に留まり、内需への転換を図る道を選んだ。結果、国内絹織物産地からの精練加工の受注が羽前絹練に集中し、結果としてシェアを伸ばし、この「残存者利益」という生き残り戦略によって経営危機を乗り越えていった。

# 次代へ、 新たな可能性を 模索し続けて

絹のみちるべ

6



国内外へ送り出される羽前絹練の製品。品質の良さで高い評価を得ている。



しかし、1973年、世界経済を揺るがす石油危機が発生すると状況は一変した。原材料の暴騰、景気の停滞、売上げの急減など、会社や業界を取り巻く状況に深刻な打撃を与えた。一時は生産計画の見通しもできない状況で、全く先行きが読めない不安と混乱の中で、経営陣は必死に対策を模索していた。さらにこの時代は、社会問題化していた公害問題がじわじわと会社の経営を逼迫させていった。地域社会に影響の大きい企業として法的にも厳しい対応を迫られ、1975年には排水処理設備費を支出し

弊社の企業理念や業務内容、絹織物に関する知識、日本遺産「サムライゆかりのシルク」の物語を紡ぐ地元鶴岡などについてご紹介したいと考え、「はぶたえ〈鶴岡発〉絹のみちるべ」を発刊してから、おかげさまで今回で第七号となりました。

これまで以上に弊社業務や鶴岡絹織物をご理解いただくための一助として、今後ともご愛読いただければ幸いです。

今夏、とりわけ残暑厳しい折ではございますが、ひととき、ゆったりとご高覧いただきますことを願っております。

て公害防止設備を完工。大きな経済的負担を負いながらも、社会的な責任を果たしていく強い決意を示した。

その後、石油危機という混乱と停滞の時代を乗り越えた後の経営の歩みも、紆余曲折に充ちたものであった。

アメリカへのプリントによる絹のスカーフ輸出が停滞する一方で、オイルマネーの還流により潤ったサウジア

ラビアやシリアなど中東の産油国で、無地染の絹の高級チャドルの需要が急増し、輸出市場を再開拓することによって危機を克服していった。

その後の第二次石油危機による試練に対しては、前回危機の経験と反省をもとに、省エネ・省力化によって一人あたりの加工高の向上を図り、製品の質を高めるなどして、海外市場での競争に勝ち抜き危機を克服している。

その後1985年のプラザ合意や1991年の湾岸戦争勃発などに起因する輸出の不振、バブル経済の崩壊や長引く平成不況など、国内外ともに深刻な需要停滞に陥る時代の転換点の中、新規技術の特殊加工（ピーチ加工）部門の充実を図りながら、新たな可能性を模索し続けている。

鶴岡散歩

観光・風土・自然・味覚

## 時代小説の名作を世に送り続けた 藤沢周平の原風景の世界にふれる

### 藤沢周平記念館

地元鶴岡をモチーフにした海坂藩の世界や、作家としての軌跡などを展示した記念館。鶴岡公園内の自然に囲まれた中にあり、館内には生前の自宅仕事部屋の書斎を再現しており、全国から多くのファンや愛読者たちが訪れている。



## 獲れたて新鮮なイカを浜風で干した素朴な逸品

### 庄内浜のイカの一夜干し

新鮮なイカを天日と浜風にあてて一夜干しにすることで、旨味が凝縮され風味と歯ごたえが増す素朴な逸品。新潟県境に近い鼠ヶ関港などで見られる天日干しされたイカの風景は壮観。さっと焼けば酒やビールのお供に、ご飯のおかずにもなる人気の味。



弊社表玄関



### 羽前絹練株式会社

〒997-0044 山形県鶴岡市新海町21-1  
TEL:0235(24)1300 FAX:0235(24)1302  
e-mail mail@uzen-kenren.co.jp  
URL <http://www.uzen-kenren.co.jp>